

気管カニューレ内部の 喀痰吸引練習器（愛称：Pちゃん） の製作方法と練習のしかた

NPO 法人さくら会



ペットボトルとカニューレ、はさみ、カッター、ひも、Yガーゼ、を用意します。カニューレは使用済みのものでもいいのですが、その場合はよく洗淨してください。



ペットボトルの上部に穴をあけて、カテーテルを差し込みます。
差し込んだら、カフから空気を入れてバルーンを膨らましてください。
カフにどれくらい空気を入れたらどれくらいバルーンが膨らむか見えます。気管カニューレの長さもわかりますので、どれくらいカテーテルを入れるといいのかがわかります。



ぐらつかないように、しっかりペットボトルの首にひもで縛ります。



Ｙガーゼを差し込み、実際の雰囲気を出しましょう。
演習では、まず、吸引の手順、コネクターの取り付け、取り外しなどの扱い、セッシの扱い方を練習します。
慣れてくれば、ペットボトルの中に模擬たんを入れて、実際に吸引を行っても良いでしょう。



カニューレにコネクターを差し込んだところです。
コネクターを効き手でないほうの手で丁寧かつ迅速に取り外したり、
はめたりする練習をします。
乱暴に行えば痛みを与えますので、これがもっとも大事です。片手で
あっても、きちんと締めないと外れてしまいます。



上からみたPちゃん。
介護職員等は、この吸引練習器で繰り返し練習して手順をしっかりと覚えて
ください。
100回ほど手順どおり練習を繰り返すと身体が覚えてしまいます。



在宅においては、人形型のシミュレーターを利用者宅に持ち込んで練習することは、スペースの関係上困難ですが、これなら簡単に持ち運びができ、利用者の目の届くところで演習が可能です。
コストもかからず、制作にかかる時間も 1 時間程度ですので、是非活用してみてください。